



BEPPU UNIVERSITY

令和6年度

雇用主アンケート調査結果報告書

令和6年9月4日

別府大学

はじめに

令和6年度は、アセスメント・ポリシーに基づく「地元社会・産業界からの『外部評価』」として、卒業生の就職先での卒業生に対する評価を把握するためアンケートを実施しました。その結果、依頼に対して133件の回答が得られました。今回の調査は、就職した学生の学部・学科を問わずに行っているため、学科ごとのDP達成度を測ることはできませんでしたが、別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた企業・団体の関係者に感謝申し上げます。今後この結果を教育改善に活用し、高等教育機関である大学の教育の質保証に繋げていく所存です。

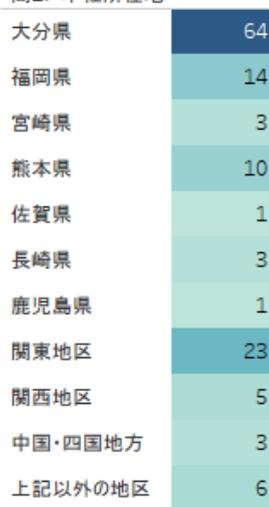
雇用主アンケート調査結果

問1.～問6. は、主に回答いただく企業の状況について質問

問1. 本社所在地

所在地	回答数	割合
大分県	64	48
福岡県	14	11
宮崎県	3	2
熊本県	10	8
佐賀県	1	1
長崎県	3	2
鹿児島県	1	1
関東地区	23	17
関西地区	5	4
中国・四国地区	3	2
上記以外	6	5

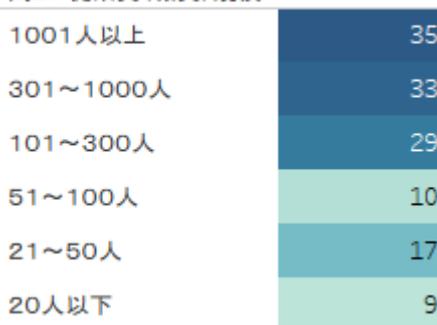
問1. 本社所在地



問2. 従業員(職員)規模

従業員(職員)数	回答数	割合
1,001以上(人)	35	26
301～1,000	33	25
101～300	29	22
51～100	10	8
21～50	17	13
20以下	9	7

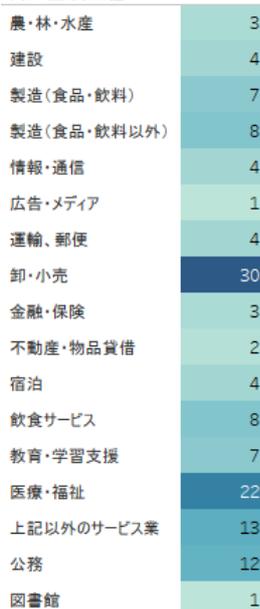
問2. 従業員(職員)規模



問3. 主たる業種

主たる業種	回答数	割合
卸・小売	30	23
医療・福祉	22	17
製造(食品・飲料)	7	5
製造(食品・飲料以外)	8	6
金融・保険	3	2
飲食サービス	8	6
上記以外	54	41
その他	1	1

問3. 主たる業種



問4. 本学からの採用実績

本学からの採用数	回答数	割合
過去5年以内に採用した	113	85
過去5年超または時期不明	7	5
採用実績なし	13	10

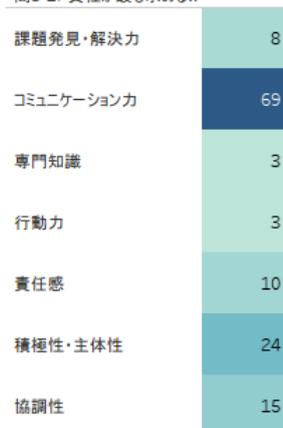
問4. 本学からの採用実績

あり(5年以内)	113
あり(5年超または時期不明)	7
なし	13

問5-1. 最も求める(重視する)能力、問5-2.2番目に求める(重視する)能力、問5-3.3番目に求める(重視する)能力

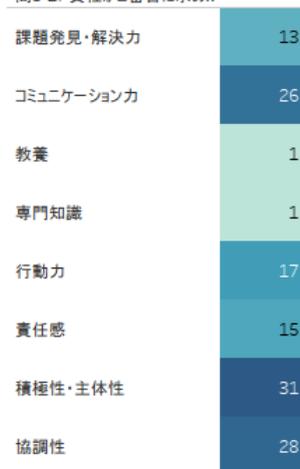
問5-1. 貴社が最も求める(重視する)能力はどのような能力ですか

問5-1. 貴社が最も求める..



問5-2. 貴社が2番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか

問5-2. 貴社が2番目に求め..



問5-3. 貴社が3番目に求める(重視する)能力はどのような能力ですか

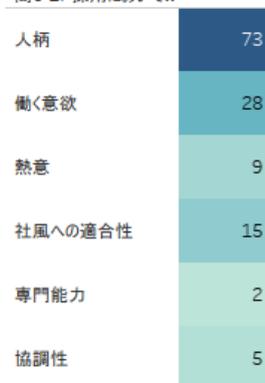
問5-3. 貴社が3番目に求める(..



問6-1. 最も重視する事柄、問6-2.2番目に重視する事柄、問6-3.3番目に重視する事柄

問6-1. 採用において最も重視する事柄は何ですか

問6-1. 採用において..



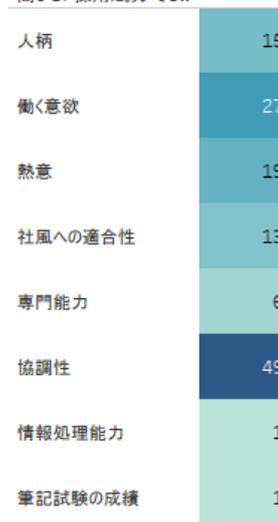
問6-2. 採用において2番目に重視する事柄は何ですか

問6-2. 採用において..



問6-3. 採用において3番目に重視する事柄は何ですか

問6-3. 採用において3..

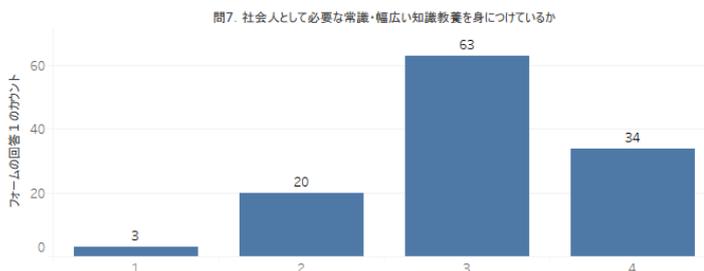


(問7. ~問16について1~4で回答してください)

[不足している]から[できている・ある等]を、1から4の数値で回答

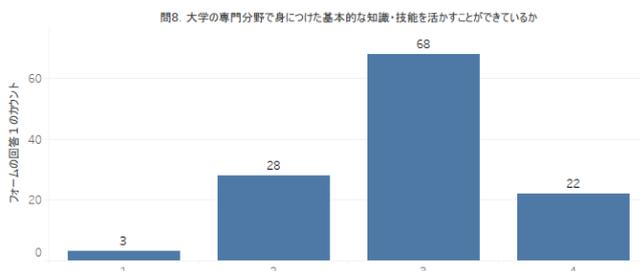
問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか

数値	回答数	割合
1(低い)	3	3
2	20	17
3	63	53
4(高い)	34	28



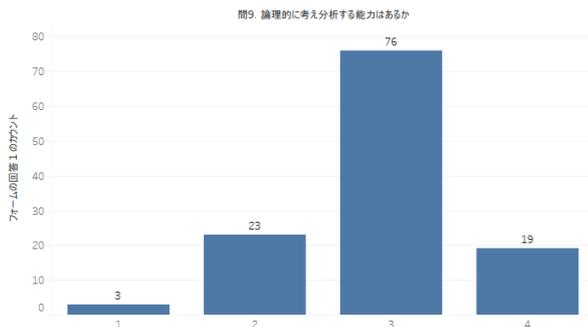
問8. 大学の専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができているか

数値	回答数	割合
1(低い)	3	2
2	28	23
3	68	56
4(高い)	22	18



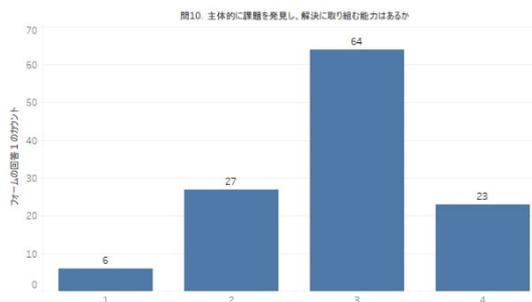
問9. 論理的に考え分析する能力はあるか

数値	回答数	割合
1(低い)	3	2
2	23	19
3	76	63
4(高い)	19	16



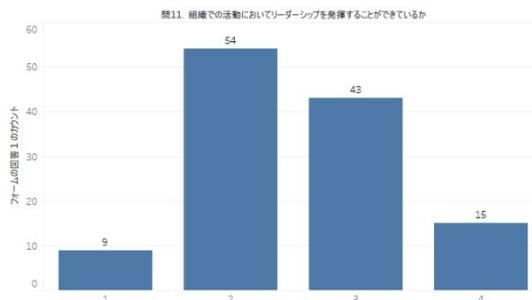
問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか

数値	回答数	割合
1(低い)	6	5
2	27	23
3	64	53
4(高い)	23	19



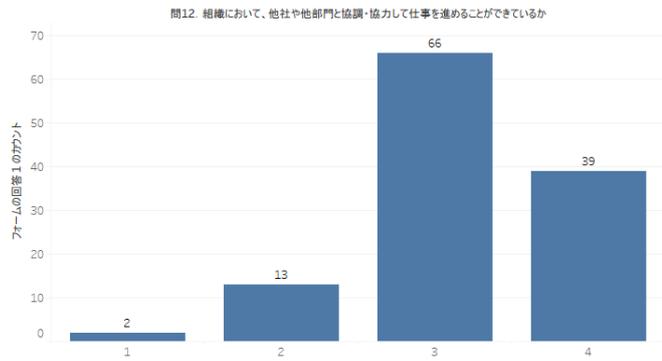
問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか

数値	回答数	割合
1(低い)	9	7
2	54	45
3	43	36
4(高い)	15	12



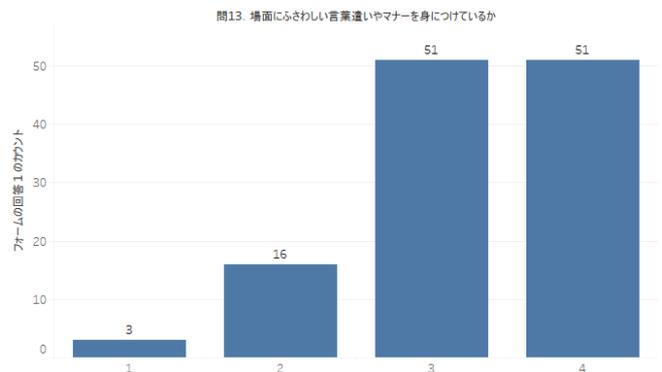
問 12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができているか

数値	回答数	割合
1(低い)	2	2
2	13	11
3	66	55
4(高い)	39	33



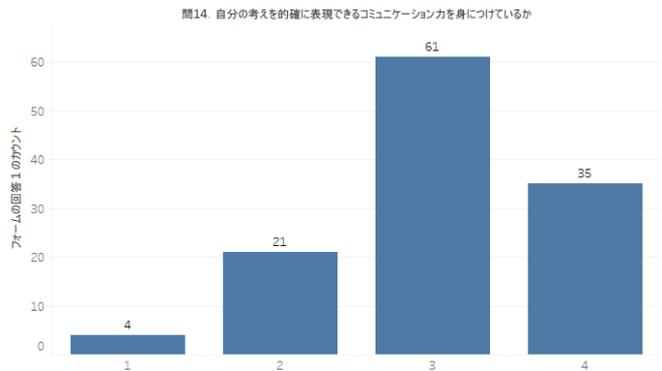
問 13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか

数値	回答数	割合
1(低い)	3	2
2	16	13
3	51	42
4(高い)	51	42



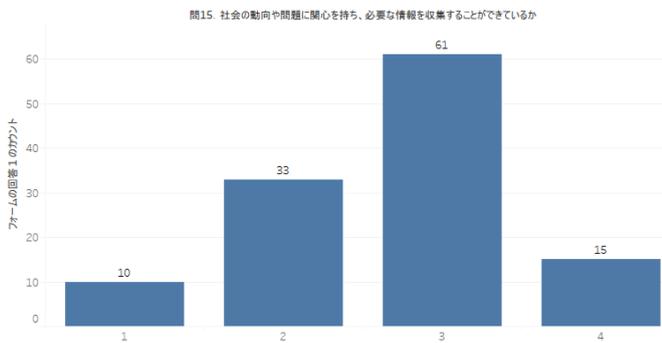
問 14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか

数値	回答数	割合
1(低い)	4	3
2	21	17
3	61	50
4(高い)	35	29



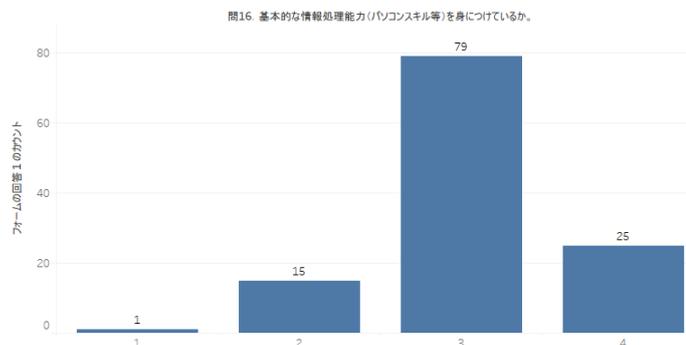
問 15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか

数値	回答数	割合
1(低い)	10	8
2	33	28
3	61	51
4(高い)	15	13



問 16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか

数値	回答数	割合
1(低い)	1	1
2	15	13
3	79	66
4(高い)	25	21

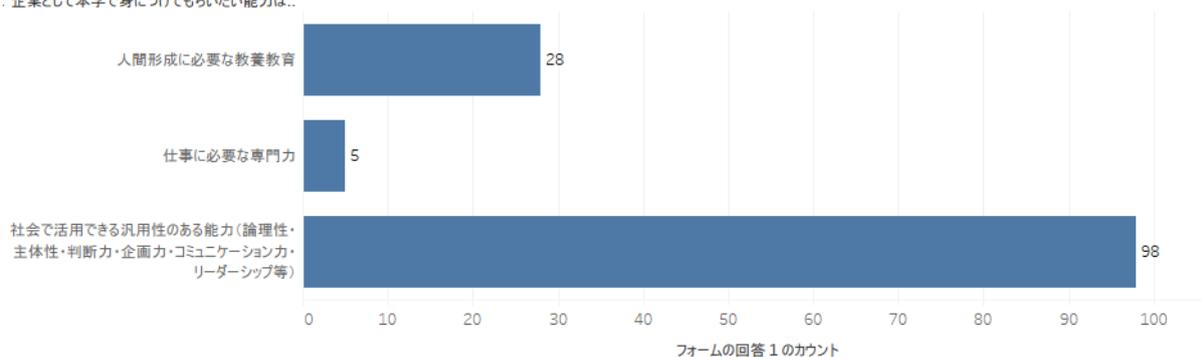


問 17. から問 18. は、本学に求めるもの、期待するものについて

問 17. 企業として本学で身につけてもらいたい能力は何ですか(1 つだけ)

能力	回答数	割合
汎用性のある能力	98	75
教養教育	28	21
専門力	5	4

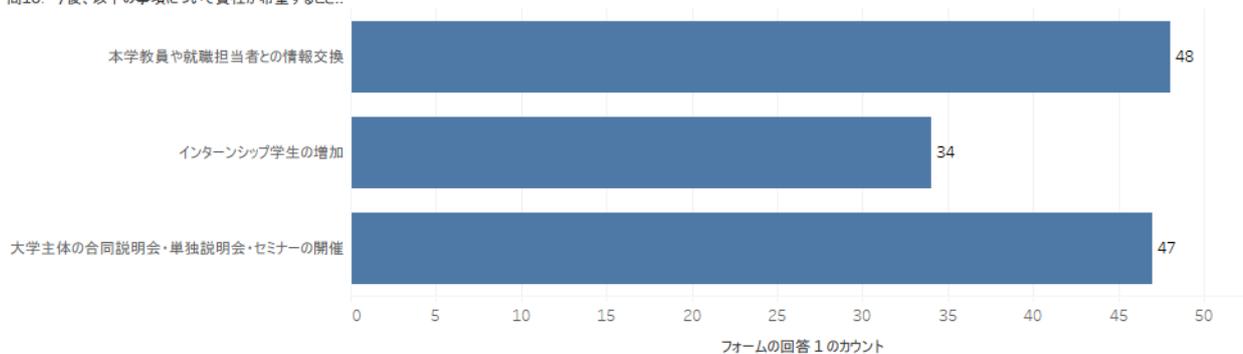
問17. 企業として本学で身につけてもらいたい能力は..



問 18. 今後、以下の事項について貴社が希望することはどんなことですか(1 つだけ)

希望事項	回答数	割合
説明会実施	47	36
情報交換	48	37
インターンシップ	34	26

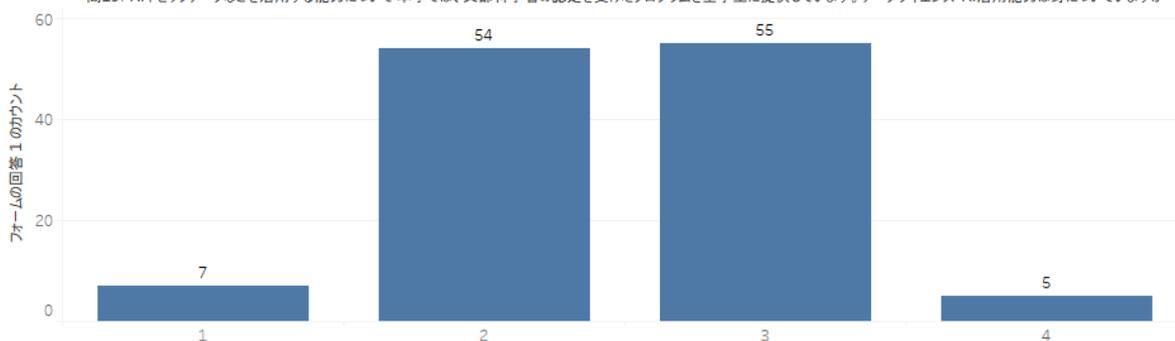
問18. 今後、以下の事項について貴社が希望すること..



(その他)問 19.AI やビックデータなどを活用する能力について

本学では、文部科学省の認定を受けたプログラムを全学生に提供しています。データサイエンス・AI活用能力は身につけていますか

問19. Aiやビックデータなどを活用する能力について 本学では、文部科学省の認定を受けたプログラムを全学生に提供しています。データサイエンス・Ai活用能力は身につけていますか



自己評価:

問 7 は教養、問 8 は専門力、問 9、10 は汎用力の中の思考力、問 11、12 は汎用力の中の実行力、問 13、14 は汎用力の中の表現力、問 15、16 は汎用力の中の情報力について調査を行った。

教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)

(1)大学教育に必要な思考力や表現力などの基礎的素養を身につけ、本学の建学の理念、教育方針等を理解している。

(2)特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる。

(3)人間と文化の探求、現代社会の多面的理解、科学技術と自然環境の理解に必要な基礎的素養を身につけ、情報処理や英語の基本的なリテラシーを身につけている。

(4)専門分野の学修を通じて、人間や社会、学問等についての基礎的素養を身につけている。

問7. 社会人として必要な常識・幅広い知識教養を身につけているか(81%)

※問の()内は 3、4 と回答した割合

評価(1~4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 81%で、8 割を越える雇用主から肯定的な評価をいただいた(昨年度も 81%)。そのうち最も高い 4 の評価をしたのは 28%であった(昨年度は 26%)。3 の評価は 53%で最多であった。2 の評価をしたのが 17%で昨年度 14%より増加したが、1 の評価は昨年度 5%から今年度は 3%と若干減少した。しかし全体の 2 割の企業が社会人としての知識・教養が十分身につけていないと判断している状況がうかがわれる。これは例年の傾向と同じであるが、ここ数年改善が見込めない状態にある。問 17 で身につけてもらいたい能力として教養教育をあげた企業等は 21%あり、今後も教養が不足しがちな学生への対策を考える必要がある。また企業等の考える教養の中身についても調査・分析が必要と思われる。

専門力(専門に関する基本的な知識、技能)

<社会的意義> <職業生活で評価される能力> <専門に関する能力>

問8. 専門分野で身に着けた基本的な知識・技能を活かすことができているか(74%)

評価(1~4)	理由
3	質問に対する 4 段階評価のうち、3 及び 4 の評価をしたのは全体の 74%となり、昨年度 75%とほぼ同じ割合であった。2の評価 23%、1の評価 2%の合計 25%も昨年度 24%とほぼ同じ割合であった。問 17 で身につけてもらいたい能力として専門力を挙げた企業等は 4%と少ない傾向がつづいている(昨年度 6%)。専門性については企業に入社してから育てるという観点もあり、問 5-1 や問 20 の回答からは専門力(専門知識)よりは対話力、協調性、積極性・主体性や責任感を重要視していることがうかがわれる。学科ごとの専門性は資格とも関係するので、企業

	の言う専門知識・技能が具体的にどのようなこと示しているのかを把握する必要がある。
--	--

汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)

(1)思考力

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力を身につけている。判断力、創造力、企画力などを含む。

問9. 論理的に考え分析する能力はあるか(79%)

問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか(72%)

評価(1~4)	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、問9では、3及び4の評価をしたのは全体の79%、問10では72%であった。問9については昨年度72%に比べ肯定的な評価の割合が増加した。問10については昨年度70%と同水準であった。最も高い4の評価をしたのは、それぞれ16%及び19%であった。問9では昨年度16%と同水準の評価であり、問10では昨年度12%から7ポイント増加した。2の評価は問9で19%(昨年度23%)、問10で23%(昨年度25%)、1の評価はそれぞれ2%及び5%(昨年度はそれぞれ5%)となり、若干ではあるが否定的な評価が減少傾向にあった。問17で身につけてもらいたい能力として汎用力をあげた企業等は75%と例年同様高い数値が示されており、低い評価の底上げが課題である。本学の課題解決型の授業をさらに吟味して強化する検討する必要がある。

(2)実行力

自ら計画し実行することができる。組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力を身につけている。主体性、協働力、傾聴力などを含む。

問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか(48%)

問12. 組織において、他者や他部門と協調・協力して仕事を進めることができるか(88%)

評価(1~4)	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、問11では、3及び4の評価をしたのは全体の48%、問12では88%であった。問11では一昨年度及び昨年度の57%と比べ低値となった。問12では昨年度89%と同水準であった。一方、2及び1の評価は、問11で45%及び7%、問12で11%及び2%で、昨年度のそれぞれ35%及び8%、19%及び3%に比べると特にリーダーシップに関する評価が低かった。本学卒業生のリーダーシップ資質が低く評価されている傾向は従来と同じで、また卒業生アンケートからも在学時に身につけていないと自覚している卒業生が少なからずいることが読みとれ、今後、実行力の養成・改善を検討していくことが必要と考える。

(3)表現力

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現することができる。場面にふさわしい言葉遣いや

マナー、振る舞い、豊かなコミュニケーション力を身につけている。発信力、日本語力、外国語力などを含む。

問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか(84%)

問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか(79%)

評価(1~4)	理由
3	質問に対する4段階評価のうち、問13では3及び4の評価が全体の84%(昨年度81%)、問14では79%(昨年度77%)であった。両項目とも若干数値の改善が見られた。問5及び問6の設問において、また問20の自由記述でも一部指摘されているが、企業が求める能力や事柄として、コミュニケーション力や人柄が重要視されていることから、引き続き社会が求める人材育成に向けた教育プログラムの充実を積極的に進める必要がある。

(4)情報力

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力を身につけている。情報収集分析力、PCスキルなどを含む。

問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか(64%)

問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか(87%)

評価(1~4)	理由
3	問15と問16は、どちらも「情報力」に関する質問であるが、前者は情報収集能力、後者はパソコン操作能力という異なる側面を測っている。問15の評価は昨年度(63%)とほぼ横ばいだったが、問16は7ポイントの上昇(80%→87%)が見られ、本学のICT教育が学生のパソコン操作スキル向上に貢献していることが示唆された。しかし現代社会においては、情報活用能力全体が求められており、引き続き学生の検索スキルや情報収集評価能力の育成に力を入れる必要がある。

総評:

問17で示されたように、企業側が「本学で身に付けてもらいたい能力」は汎用力(75%)が圧倒的であり、教養教育(21%)及び専門力(4%)は低いものであったが、それぞれ汎用力、教養教育、専門力の回答割合は昨年度と比べてもほぼ同水準で推移している。また問5の「求める(重視する)能力」では各社からコミュニケーション力が109件、積極性・主体性が85件、協調性が69件、責任感が49件と上位にあげられた。問6の「重視する事柄」では人柄が116件、働く意欲が91件、協調性が69件、熱意が54件と上位にあげられた。汎用力、コミュニケーション力、人柄、意欲、協調性などを企業等が重要視していることがうかがえる。

今回の調査結果から、卒業生が社会人として必要な教養や汎用的な能力をある程度身につけていることがわかった。特に表現力や情報処理能力は高い評価を得ており、本学の教育の成果が表れていると言える。しかしながら、リーダーシップや課題発見・解決能力といった実行力については、企業からの評価が低く、改善の余地が残されている。また社会の動向への関心や情報収集能力についても、さらなる強化が必要と言える。

今後、本学が社会の変化に柔軟に対応でき、創造性と問題解決能力を備えた人材を育成し、社会に貢献するために取り組むべき課題としては次のようなことがあげられる。

- ① 実行力の強化:リーダーシップ育成プログラムの導入や、グループワークを通じた協調性の育成など、実践的な学びの機会を増やす
- ② 課題発見・解決能力の育成:問題意識を育み、自ら課題を見つけ、解決策を提案できるような能力を養成するためクリティカル・シンキングやイノベーション教育を展開する
- ③ 社会との連携強化:企業との連携を深め、インターンシップや産学連携プロジェクトを通じて社会で求められる能力を明確にし、教育内容に反映させる
- ④ 情報活用能力の育成:情報リテラシー教育とデータサイエンス教育の充実、デジタルツール活用能力の向上を図り、学生の情報収集・分析能力を強化する
- ⑤ その他:企業が求める「教養」の内容を具体的に調査・分析し、教育内容に反映させ、また企業が求める専門知識・技能を明確にし、学科ごとの特色を活かした教育を進める

資料

「問 20. その他、自由意見を記載をお願いします。」

※個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

- 今後とも宜しく願いいたします。
- 社会人になっても学習することが多くあるので、自学の力があるとよいです。
- 真面目ではありますが、積極性やコミュニケーションに不安がある方が多い印象ですが。
- とてもしっかり3人はいます。感謝です！
- 入社後家庭の事情により4日しか出勤せずに退職になったため判断できない項目もありました。その点はご了承願います。
- お世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。
- お世話になっております。現在は在籍人員に貴学の卒業生はいませんが、優秀な方が多数在籍されている別府大学の学生様は積極的に採用していきたいと思っております。
- 企業説明会等の学生様とお会いできる機会がございましたら是非ご参加させていただけますと幸いです。今後とも何卒宜しく願いい致します。
- 本年度採用した、貴大学卒業の学生については、社会人としての基本的なマナーがまったく身につけていない。あいさつも棒立ちです。丁寧語・敬語を使わない・単語で話をする、質問に適切に回答をしない(時間をかなり要する)など。コロナ禍でアルバイトをすることが難しかったり、他人と接する機会が少なかったりする世代ではあるのでしょうか、世代としてひとくくりにしてよいものか、個人の資質の問題なのか指導に悩む場面が多々あります。大学としてももう少しご指導いただけたらと思います。
- いつもお世話になります。弊社は今年から貴校の卒業生を採用させて頂きましたが素晴らしい活躍で日々感心させられております。弊社は熊本県の地元企業として今後も貴校の生徒様を毎年新卒採用させて頂ければ有り難く存じます。今後どうぞ宜しく願いい致します。
- 問 19 では AI やビッグデータなどを活用している様子は窺えないため回答を2にしています。もしかしたら、身に付けており、活用していないだけかもしれません。

- 積極性のある人材を提供いただいている。今後とも連携をお願いします。
- ぜひ選考へお待ちしております。
- 入社してすぐ辞めるか、5年以上は在籍するかの2極化が見られます。社会への適応能力がすべての学生にあるわけではないので順応できるまで辛抱する力の差だと感じています。
- いつも大変お世話になっております。
- 先輩や同僚とコミュニケーションをとりながら真面目に業務と向き合い活躍いただいております。引き続きよろしくお願いたします。
- いつもお世話になっております。昨年も新入社員が入社されており、店舗でご活躍されております。ありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。
- お世話になっております。〇〇です。今後とも引き続き宜しくお願致します！
- 問19 弊社で利用する機会がなく、身につけているかどうか不明。
- 今後ともどうぞよろしくお願致します。

別府大学アセスメントポリシー

1. 目的

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、厳格で客観的・公正な成績評価を行ない、かつ、成績評価を含めた複数の方法で学生の学修到達状況を多角的・総合的に評価することによって、教育の質の向上及び教育の質の保証を行う。

2. 成績評価

別府大学は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、シラバスに明示した授業の到達目標及び評価方法並びに学科履修規程に明記された成績評価の区分によって、厳格で客観的・公正な成績評価を行う。

3. 成績評価を含めた多角的な学修到達状況の評価

別府大学は、2の成績評価に加え、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに基づき、各学科・課程等(学位又は教育プログラム策定単位)を基本に、その学修内容等に応じ、下記から選択した複数の方法で学生の学修到達状況や達成すべき質的水準を多角的・総合的・客観的に検証(測定)・評価する。このことによって、ディプロマポリシー(学修到達目標)を起点としたPDCAサイクルを回し、授業内容、授業方法、評価基準、カリキュラム、入学者選抜などについて改善を図るとともに、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの各ポリシーについて必要な見直しを行う。さらに、学修成果(到達目標)の達成度評価を集約し、別府大学全体の学修成果の達成状況を評価する。

① ポートフォリオ学修支援システムでの「学生による評価」

学生自身が、ポートフォリオ学修支援システムを利用して、学修成果(到達目標)の達成度を自己評価する。

② 口頭試問での「教員による評価」

卒業時に修得することが期待される学修成果(到達目標)を、卒業論文・卒業制作発表会または口頭試問によって評価する。

③ まとめ試験による「客観評価Ⅰ」

科目区分毎に「まとめ試験」による内部アセスメントテストを行い、修得することが期待される学修成果(到達目標)について達成度を確認する。

④ アセスメントテストによる「客観評価Ⅱ」

客観的な評価を行うために、外部テストなどを利用したアセスメントテストによって、学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

⑤ 卒業生調査による「卒後評価」

別府大学教育への評価、職業生活や社会生活での必要な知識と能力、別府大学への希望などについて、卒業生への調査を行うことで、学修成果(到達目標)の達成状況を評価する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

在学生においては、実習先訪問や実習連絡会議等を通して、学外実習先の企業や施設などでの学生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。卒業生においては、就職先の企業等での卒業生に対する評価を把握し、到達目標の達成度を評価する。

⑦ 卒業時における学修成果達成度調査

卒業年次生を対象に、本学のディプロマ・ポリシーに掲げられた目標がその程度達成できたかについて評価する。

⑧ CP等(カリキュラム・ポリシー)に基づく教育課程プログラムの成果の検証

各科目や学科ごとのGPの分布を調査し、その結果に基づき、問題点はないかを検証する。

⑥ 地元社会・産業界からの「外部評価」

目的:別府大学アセスメント・ポリシーでは、評価指標⑥として「地元社会・産業界からの『外部評価』」を定めている。これに基づき、「令和元年度雇用主アンケート」の結果から DP 達成度を評価し、本学の教育・研究上の課題を明らかにする。

実施方法

1. 「令和6年度雇用主アンケート」の結果に基づき、別府大学のすべての学部・学科の学生が共通して身につけることとしている①教養 ②専門力 ③汎用力について、それぞれ4段階で到達度を評価する。
2. 4段階の評価基準は、以下の表のとおりとする。

評価	評価の基準
4	DPの達成度が80%以上
3	DPの達成度が60%以上80%未満
2	DPの達成度が40%以上60%未満
1	DPの達成度が40%未満

3. DPの3つの力について、達成度についての総評を行う。

評価結果の集約:各学科・部署で実施するアセスメント・ポリシーに基づく調査等の結果は、IRセンター運営委員会が集約する。

評価結果の報告・公表:評価結果は学長への報告後、大学企画運営会議で報告し、別府大学ホームページ上に公開する。

企業等へのアンケート調査依頼文

令和6年7月26日

採用ご担当者各位

別府大学
学長 友永 植

アンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、本学学生の就職活動及び採用につきまして格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別府大学では、企業・団体等の採用担当者の皆様を対象にアンケート調査を実施しております。本学学生の採用にあたって、貴組織に必要な人材となるための力について等のご意見をお伺いし、本学の今後の教育力の向上、改善に活かしたいと考えております。

つきましては、下記の方法にて実施いたしますので、ご多用中大変恐縮ですが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的
各企業・団体の採用担当者の皆様に、本学学生の採用や仕事面における必要な人材についてご意見をお伺いし、今後の教育力の向上や改善に活かしたいと存じます。
2. 調査対象
本学卒業生の就職先
3. 回答期限
令和6年8月16日(金)
4. 実施方法、回収方法
URLまたはQRコードを用いて、インターネット上のアンケートページにアクセスして回答する。
※なお、回答は機械的に処理され、社名等が特定できるような形で利用されることはありません。

URL:<https://forms.gle/ucWeZebgS2Cw6hx87>

以上



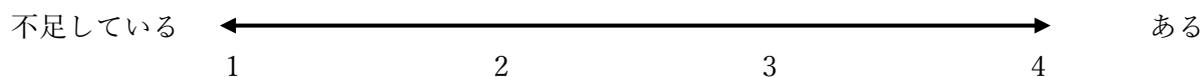
<問い合わせ>

〒874-8501 大分県別府市北石垣82
別府大学キャリア支援センター(高橋、満留)
Tel:0977-66-9623

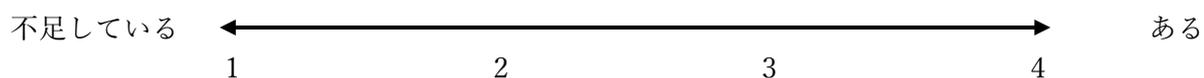
問8. 大学の専門分野で身につけた基本的な知識・技能を活かすことができているか



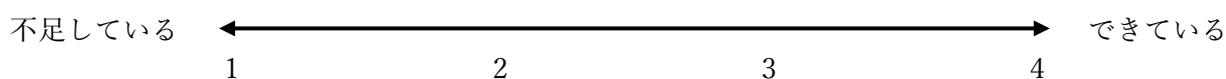
問9. 論理的に考え分析する能力はあるか



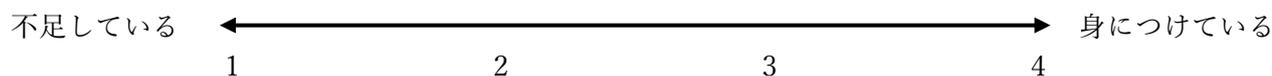
問10. 主体的に課題を発見し、解決に取り組む能力はあるか



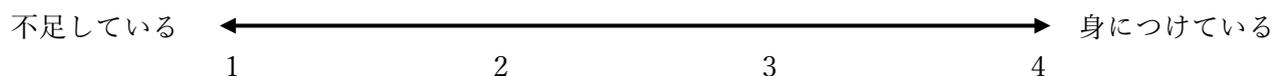
問11. 組織での活動においてリーダーシップを発揮することができるか



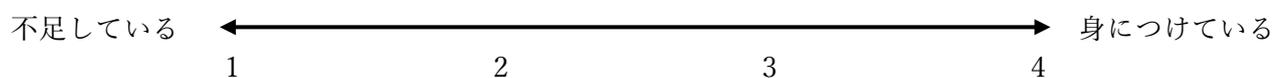
問12. 組織において、他社や他部門と協調・協力して仕事を進めることができているか



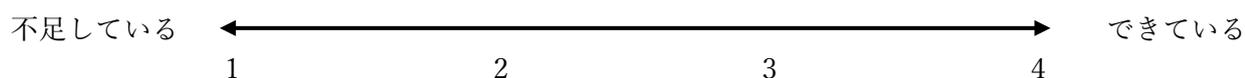
問13. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーを身につけているか



問14. 自分の考えを的確に表現できるコミュニケーション力を身につけているか



問15. 社会の動向や問題に関心を持ち、必要な情報を収集することができるか



問16. 基本的な情報処理能力(パソコンスキル等)を身につけているか

